



会報 第61号
 令和2年7月16日
 公益社団法人滝沢市シルバー人材センター
 〒020-0654 岩手県滝沢市中鶴飼 55 番地
 TEL (019) 699-3015
 FAX (019) 699-3039

令和2年度 第25回定時総会報告

滝沢市シルバー人材センターの定時総会は、6月12日に一階会議室に於いて開催された。5月28日に開催通知と議案書を事前に送付した経緯にあり、審議内容の概要を以下に報告します。

- 開 会 大畑副理事長が令和2年度の第25回定時総会の開催を宣言した。
- 議長選出 定款16条に基づき理事長齊藤裕夫を選任
- 定足数 議決権のある会員数251名(足数126名)
- 報告 出席会員数211名、内議決権行使書提出192名、本人出席8名、委任状提出11名、これにより定款18条の過半数出席で成立。
- 報告事項 令和2年度事業計画並びに収支予算の件は、理事会の承認で行政庁へ提出して受理省略
- 決議事項 議案第1号令和元年度事業報告の承認の件
議案第2号令和元年度収支決算の承認の件
- 議案の審議内容 議案内容に関しては、議案書送付時に同封した総会に係る経緯により、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から省略「議案第1号」と「議案第2号」を一括提案とし、議長から定款43条第1の規定に基づく議決であることの説明がされた。

- 議長が議案第1号と議案第2号について質疑を求めた結果、両議案ともに質疑なしとして議長は賛成209名、反対1名、無効1名で議決権の過半数を越える賛成多数で、承認された旨を発言し、定款19条によって全議案が可決された。
- 閉 会 大畑副理事長が14時43分に第25回定時総会の閉会を宣言した。



定時総会の審議模様

令和2年度の地域班の班長・副班長です。

地域班名	班長等	会員名	地域班名	班長等	会員名	地域班名	班長等	会員名
小岩井	班 長	澤 田 三 郎	西鶴飼	班 長	吉 田 賢 治	長 根	班 長	佐々木 桂 造
	副班長	佐々木 正 憲		副班長	千 葉 正 敏		副班長	山 澤 福 治
大 釜	班 長	勝 田 征 利	姥屋敷	班 長	伊 藤 京 子	川 前	班 長	吉 田 耕 一
	副班長	栃 内 健		副班長	須 藤 正 志		副班長	鈴 木 功
篠 木	班 長	主 濱 和 彦	元 村	班 長	上 舘 六 蔵	一本木	班 長	猿 走 満 雄
	副班長	滝 沢 勇		副班長	阿 部 芳 矢		副班長	角 掛 専 一
大 沢	班 長	澤 村 與 吉	第二元村	班 長	里 ナミエ	穴口東	班 長	青 木 郷
	副班長	萩 臺 久		副班長	高 屋 純 子		副班長	岩 崎 マサ子
東鶴飼	班 長	澤 村 道 春	柳 沢	班 長	工 藤 敬 子	穴口東	班 長	府 金 勝 義
	副班長	小 山 田 忠 榮		副班長	四・戸 敏 文		副班長	横 道 正
			巢 子	副班長	鈴 木 博 之			



～ 復興まちづくりの視察旅 ～

小岩井地区 大畑秋義

震災復興状況を視察するために2月中旬仙台駅から女川駅まで仙石線・石巻線の電車で乗降してみました。車窓から震災の痕は見えず復興がうかがえた。

松島商店街の歩道・車道・公園の整備工事も完成し歩きやすく綺麗な街になっていた。

瑞巖寺参道両側の庭園も綺麗に整備されていて瑞巖寺の内外装改修工事も完成して見学する事ができた。石巻市日和公園から眼下に太平洋が望める、直下は住宅・集合住宅が建ち周辺はすっかり整備されていた、石ノ森漫画館も円盤状の建物は白くすぐにわかった。

終点、女川駅は温泉施設が一体となっている。駅を降りて周囲を見渡すと全てが新しい。

目の前に広がる女川湾。レンガ道を真っすぐ海へ歩くと両隣に商業施設、その周辺に飲食店が並んでいる。中に入ると鮮魚や水産加工品を中心とした特産品の販売店舗が並んでいた。テナント型商業施設シーパルピア女川はミニスーパーや小売店・ギター・タイル工房・飲食店・日用品が並び街歩きを楽しむ事が出来た。

女川町は甚大な被害をもたらした。(人口1万人・一般家屋被害89%) 現在、1000年に一度の街づくりを目指しているとのこと、新しい女川に生まれ変わってきていることがよくわかった。

今回視察してみて、特に女川町の街づくりは、海から山に沿って活用ゾーンごとに構成されていて素晴らしい町でした。



～ 東日本大震災(3.11)体験 ～

東鶴飼地区 関勉

大震災の時、自分はスーパーマーケットに勤務し、会議室でミーティング中だった。突然の揺れが段々と強くなり、とっさの判断が出来ないくらい、一瞬パニック状態になった。自分が冷静に成らなければ・・・と思い、先ず店内のお客様を安全な場所に誘導する事が最優先だと思い、安全な場所に誘導している最中に停電が発生した。

その間、約10分位経過したと思うが、お客様を全員避難誘導し天井からの落下物が無い事を確認し、さらにお客様を屋外へ移動し、怪我も無く帰宅して頂きました。店内の商品は棚から落ち、瓶物は壊れ、通路に商品が散乱し足の踏み場が無い程危険な状態だった。店内の暗闇で、入口付近だけがかすかに光を差していた。その日は一旦、店を閉鎖し店内の後片付け作業をするが、暗くて作業がはかどらない。

停電が長く続くとは予想もせず、夕方までには復旧するだろうと安易な気持ちでいたが、電気が復旧したのは5日後だった。

地震当日、店を閉鎖し状況報告と今後の対応を本部と電話でやり取り(固定電話は通話可能だった)し、地域の住民から「必需品が欲しいので何とかしてほしい」と言う要望が沢山あり急遽入口付近20坪程度を整理し懐中電灯で明かりを灯し物販体制を取ったが、レジは稼働出来ないで全部手作業、チームを3チーム編成し対応した。

会計ではお客様を待たせながらの対応だったが、誰1人文句が無く、逆にお客様から励まされたのが救いだった。

停電中の営業は昼頃から午後6時まで。夜間は防犯上、男子社員が1組3人体制で、毎晩交代で店舗に宿泊し警戒態勢を取った。通信網が不通で情報収集が途切れる日々の中、携帯ラジオの貴重さを痛感した。ラジオでは、沿岸方面の甚大な被害の報道は聞いていたが、電気が復旧しテレビを見て改めて津波の恐ろしさを知った。

右上に続く➤

店も一部売り場を縮小しながらですが、昼から夜6時まで営業開始するが店内には商品がほとんど無く、その理由にガソリンの供給がストップし、流通機能が止まった事である。メーカーや問屋には商品が有るが、ガソリンが無く車が動かないと言う最悪の事態が1ヶ月程続いた。徐々に商品が店に入荷し始めたが、最初に入荷したのが食パン・菓子パンの一部・納豆・豆腐等、俗に言う日配系だっ

たが入荷数量が少なく、満足にお客様へ供給できなかったのが申し訳なかった。

しばらくの間、お一人様何個、ご家族様何個の制限販売が続き、いつになったら需要と供給のバランス調整が出来るのかと思って日々を過ごした。震災前から避難訓練の実施等が、実践に役立ったと思っています。

新型コロナウイルス感染症について

～ コロナに思う ～



長根地区 佐々木 桂 造

少なくとも6月迄は感染者ゼロ、岩手はすごいですね。今迄にいろいろな人が云い尽くしたことですけど私もやはり人口密度との関係が大いにあると思います。何しろ四国4県に匹敵する広大な面積にその1/4の人口しか住んでいないし、また東京に比べると、その7倍の面積に約1/10の人口なですからね。それと何と云っても、日報論壇にもありましたが、岩手の県民性、他人の話を素直に聞き入れ、正しいと信じたことをやり通す、その素朴さが背景にあるでしょうね。

先日知人の話で、草取りを依頼したら、マスク

姿で来た会員が間隔を取りながらひたすら手際良く進める仕事ぶりに感動し、少しだったけどスイカを持ち帰って頂きましたと聞きました。私も今、いろいろ気配りしながら市の広報を地区担当員に配る仕事をしています。仕事を持っている、まだ社会参加している、という気持は、精神面では大きな支えになって居り、貴重な仕事に携わっていると思っています。それぞれの職場で新型コロナウイルスの脅威を背にしながら頑張っている皆さん、どうぞ熱中症にも充分気を付けられるよう。そして収束した暁には、皆で歌って踊って楽しみましょう。



新型コロナウイルス・熱中症対策

～ 手洗い・うがい・マスク ～

西鶴飼地区 小笠原 友 栄

4月中頃、滝沢市より手ぬぐいの提供がありました。会議を開き、世の中マスク品薄状態なので布マスクの製作に活用を決定し、会員の方々に広く電話を掛け、型紙、材料は提供という形で4月27日午後事務所1階において、マスク作り講習会を急ぎよ開催いたしました。13名の参加者がありました。

外出自粛も重なり、連休明け皆さん早々に製作して下さり200枚近い商品が出来上がりさっそくビックルーフにて180円という格安で販売し、皆さんに大変喜ばれ、さすが丁寧で早く5月中に完売いたしました。

その後独自のマスクを制作し、ビックルーフに出店している方もいます。

マスクの需要はまだあります。手ぬぐいの在庫はありますので引き続き製作して出品して下さい。また作ってみたい方も是非事務所まで連絡下さい。自分の為ビックルーフ出店にも繋げて下さい。協力して下さい下さった方々本当にありがとうございます御座いました。これから夏本番、コロナの他に熱中症も自分で守りましょう。

令和2年度の職群班の班長・副班長です。

草取班

班	班長等	会員名	地域班
1班	班長	村上正男	東鶴飼班
	副班長	釜澤捷國	東鶴飼班
2班	班長	工藤邦男	元村班
	副班長	岩崎マサ子	穴口東班
	副班長	藤原正昭	穴口南班
3班	班長	藤原博	菓子班
	副班長	吉田勝治	菓子班
大森 ブロック (旧4班・5班)	班長	大森堅一	長根班
	副班長	熊谷茂	長根班
	副班長	山澤福治	長根班
	副班長	伊藤しず子	川前班
	副班長	佐々木礼子	川前班

刈払班

班	班長等	会員名	地域班
1班	班長	阿部二二夫	大釜班
	副班長	徳田和行	大釜班
2班	班長	及川千秋	東鶴飼班
	副班長	日向継男	大釜班
3班	班長	千葉正敏	西鶴飼班
	副班長	川村征夫	西鶴飼班
4班	班長	井上義男	第二元村班
	副班長	佐藤和由	元村班
5班	班長	荒谷杉義	川前班
	副班長	角掛専一	一本木班

剪定班

班	班長等	会員名	地域班
1班	班長	中公義雄	第二元村班
	副班長	滝沢村與吉	篠木班
2班	班長	泰野克司	菓子班
	副班長	鈴木清三	東鶴飼班

環境整備班

会員名	地域班	会員名	地域班
主濱和彦	篠木班	安達健二	元村班
澤村公夫	西鶴飼班	小赤沢仁	東鶴飼班
鈴木博之	菓子班	吉田益實	西鶴飼班

◆3.11の投稿要領

令和3年3月11日は、東日本大震災から丸10年を向かえます。会員の皆さんは、その時どこで何をしていたか等、忘れられない事柄を活字として残すことが大切です。このため今回の会報61号から残したいと思う事柄を募りますので、下記のより投稿をお願いします。なお、掲載時期は委員会に一任を頂き、場合により添削をご了承下さい。顔写真や関連する写真を歓迎します。

記

1. 字数 300～600字以内とします。
2. 投稿期限 会報62号は令和2年11月末、会報63号は令和3年5月末です。
3. 掲載予定 会報62号は令和3年1月、会報63号は令和3年7月予定です。

「シルバー滝沢」会報編集委員会

**** 事務局からの連絡事項 ****

◆配分金支払日

6月分… 7月31日(金) 7月分… 8月31日(月)
 8月分… 9月30日(水) 9月分… 10月30日(金)
 10月分… 11月30日(月)

◆会員状況

令和2年 4月 1日現在 250名
 令和2年 4月 1日以降入会者 4名
 令和2年 4月 1日以降退会者 5名
 令和2年 6月12日現在 249名
 (内訳 男性159名 女性90名)

◆会員手帳の購入について

2021 会員手帳が必要な方は、事務所まで連絡をください。価格は300円くらいになる予定です。

◆就業先の案内について

会報に同封して会員の皆様へ送付しています。ご意見、ご趣味がありましたら、お問い合わせください。

◆「一人一会員入会促進・一人一仕事紹介」にご協力下さい。

◆編集後記

今年は国内外、新型コロナウイルス感染で大変な日々であり、様々な行事が中止や延期になる中、自宅庭のサギ草が芽を出してきました。

サギソウとは盛夏のころ、朝露に濡れて咲くサギソウの花(ラン科)花は白色でシラサギが羽を広げて優雅に舞っている姿に似ており、自然の造形美の凄さに驚かされる草花の一つであり涼しげな花が、しばし暑さを忘れさせてくれます。

新型コロナウイルス感染が終息なることを願っております。

会報編集委員 篠木班 川口 二三夫